

第 28 期（2017 年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成 国内研究助成申請書

下記の通り、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の研究助成を申し込みます。

1. タイトル

〇〇島に生息する絶滅危惧種XXXの現状調査と保全策の検討

日本語で、内容を簡潔に表現したものにしてください。副題は用いないでください。

2. 申請団体

団体名	XXX研究グループ プロジェクトを行う団体の名前にして下さい。大学名・学部名のみはNG。		
フリガナ	シゼン タロウ	生年 月日 [年齢]	
申請代表者 氏名	自然 太郎		
所属機関 ・役職	自然大学大学院 理学研究科生物学専攻野生動物研究室 教授		
住所	〒 自宅か職場（または学校）の住所をお書きください。 どちらかお選びください↓ (○自宅・職場)		
電話	自宅・職場： 連絡のつきやすい方の番号 をお書きください	携帯電話：	
e-mail	連絡は主にe-mailを用いますので連絡のつ くアドレスをお知らせ下さい。	URL	団体のサイトがある場合はURLをお書き下さい。

3. 研究テーマの種類（いずれか一つ選択してください）

- 特定地域の生物、生態系、自然環境の基礎調査および研究
- 森林・干潟・藻場・河口域などの陸域、水域の環境の調査および研究
- 絶滅危惧種、希少種に関する調査および研究
- 野生化した移入種、外来種の調査および研究
- 現在起こっている自然保護問題の解決のための調査および研究
- 自然保護のための調査研究手法の開発および検証
- その他

複数選択しないでください。
複数のテーマにまたがる場合は、「その他」を選択してください。

4. 研究の目的（200字程度）

本申請プロジェクトにおいて、（保全する対象があれば）何の保全を目指しているのか、到達目標を明確にお書きください。

例) 〇〇島に生息する絶滅危惧種XXXの保全を目的として、◇◇の手法を用いて調査を行い、具体的な保全策の検討を行い、地域の自然保護活動に役立てる。

- 支出計画書の金額と相違がないようご注意ください。
- 千円の位を四捨五入してください。
- 本助成プログラムでは複数の助成金を使って実施するプロジェクトには助成いたしません。

5. 助成申請額

100 万円

この申請書は、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の審査にのみ使用し、その他の目的では使用いたしません。公益財団法人自然保護助成基金個人情報保護に関する基本方針のとおり、適切に取り扱いいたします。

研究計画書（1）

1. 研究課題の自然保護上の重要性と緊急性

この研究課題における自然保護上の重要性および緊急性について、要点をそれぞれ 100 字程度で枠内にお書きください。重要性と緊急性をまとめて述べる場合は、重要性の枠内に 200 字程度でお書きください（その際は緊急性の枠は削除してください）。

重要性：XXXは、〇〇島にのみ生息する固有種であり、生態系の中で重要な役割を果たしているが、個体数は激減しており、保全のために詳細なデータを取得する必要がある。

文字のフォントを大きくしたり、太字にしたりして、内容が一目で明確にわかるように、適宜工夫してください。

緊急性：XXXは環境省レッドリストで絶滅危惧ⅠA類に指定されているにもかかわらず、生息地近辺で開発工事が予定されており、緊急的な調査が必要である。

この研究課題に取り組むこととなった背景や、研究対象となる事物、地域の特徴等について、詳細をお書きください。昨年度からの継続申請の場合は、継続理由もお書きください。

本プロジェクトは、第27期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成により〇〇島におけるXXXの生態に関する基礎的な調査を行ったが、個体数の減少が著しいことが判明し、より詳細な調査の必要性が出てきた。

XXXは〜〜〜のような場所を好む習性があることから、調査は下記図の場所で重点的に行う。

地図

※注意※

- フォントサイズは10ポイント以上でお書きください。
- 枠の位置の変更はしないでください。また、ページ数を増やすことはできません。
- 写真や図の挿入は可能ですが、モノクロ印刷で審査に付されるため、モノクロでも見分けの付く範囲内をお願いします。

研究計画書（2）

2. 研究計画

1) 本研究の具体的な到達目標についてお書きください（箇条書きでも可）。

- ・2017年11月までにXXXに関する情報の整理を行う。・・・
- ・2017年12月に第1回現地調査を行い、***と***を行う。
- ・2018年2月に第2回現地調査を行い、***と***を行う。
- ・・・
- ・・・

いつまでに何を達成するのか、具体的にお書きください。

2) 調査・研究手法をお書きください。

第1回調査では、◆◆を用いて◇◇の手法でデータ収集を行う。
第2回調査では、・・・

どのような方法でデータを取得し、分析し、問題を解決するのか、お書きください。

3) 予算計画について、特記すべき点があれば、お書きください。一つの費目への比重が大きい場合などは、説明してください。

調査地は離島のため、旅費の出費が多い。

4) 調査・研究体制や構成メンバーの専門性などについて、特記すべき点があれば、お書きください。

このページでは、字数制限はありません。設問ごとに回答の長さを変えても構いません。
ただし、ページ数は増やさないでください。

研究計画書（3）

3. 期待される成果

本研究の期待される成果を、100字程度で簡潔にお書きください。

本研究でXXXIに関する詳細情報を得ることで、具体的な保全策を提案することができ、個体数の回復に貢献することができる。

こちら、フォントや文字の大きさを工夫して見やすくなるようにしてください。

本研究で期待される成果を、今後の自然保護にどのように活かしていくのか、具体的にお書きください。

本研究では、XXXの個体数や分布状況について把握することで、どの場所を重点的に保全していくべきか明らかにすることができる。また、本研究で得られた成果は今後わかりやすくパンフレットにまとめ、〇〇島の地元住民への普及啓発活動に役立つ。

年間スケジュール

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
17年 10月	情報の収集, 整理 ・XXXに関する情報の収集・整理を行う	図書費 10,000 円
11月		支出費目と金額 をお書きください。
12月	第1回調査 (x日間) ・調査に使用する**を購入 ・***と***を行う。	
18年 1月		
2月	第2回調査 (x日間) ・***と***の調査を行う	
3月		月をまたいで調査や分析の作業を行う場合は, ↑でお示し下さい。 行の高さは変更して構いませんが、ページは増 やさないでください。
4月	中間報告書の提出	
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
11月～12月	助成成果発表会	成果発表会出席経費 往復 30,000 円

グループの構成員

氏名	所属	役職	分担*
自然太郎 ●● ●● ●● ●●	自然大学大学院	教授	責任者（申請者）
	自然大学大学院	博士後期課程1年	副責任者
	自然大学		会計責任者

申請者がその任を負えなくなったときに、このプロジェクト遂行の責任を負っていただける方を副責任者として下さい。

大学の研究者が申請代表者となる場合は、大学事務員を会計責任者とすることができます。ただし、申請グループの一員という扱いになるため、一般管理費の支出は認められません。

*プロジェクトの上で担当する役割を記入。（責任者、副責任者、会計責任者を必ず決めて下さい。）

これまでの研究実績・発表実績

申請代表者の略歴（過去を含めた所属先や最終学歴など）をお書きください。

XXXX年 自然大学大学院生物学研究科自然環境学専攻 博士後期課程修了（理学博士）
 XXXX年 自然大学附属自然環境センター 研究員 着任

本申請に関連する、代表的かつアクセス可能な研究実績・発表実績3件をお書きください。（申請代表者以外のプロジェクトメンバーのものでも可）

- a) 様式（論文の場合）：著者（発表年）、論文タイトル、雑誌名、巻（号）：初めのページ数-終りのページ数、
 様式（書籍の場合）：著者（出版年）、タイトル、出版社、ページ数。
- b) 様式（学会・シンポジウム等の発表）：発表者、「題目」、発表した学会名、論文等の番号、場所、発表年月日
- c)

必ずしも申請代表者の実績である必要はありませんが、本申請の内容に関連するものに限りません。

助成金申請状況

1. 現在、同様のテーマで他財団や公的機関の助成金を申請していますか。

機関名	テーマ	金額(万円)

2. 現在、第28期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の別の申請に、構成メンバーとして参加していますか。

カテゴリー名	タイトル

申請代表者は、他の申請プロジェクトにおいて申請代表者になることはできません。また、本申請グループが別のテーマで複数応募することもご遠慮ください。

アンケート

(アンケートの記述のない申請書は受け付けません。記述内容は選考に影響しません)

I 申請者の本助成への応募は何回目ですか。

初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目以上

II 過去に、申請者は本助成の助成金を得たことはありますか。ある場合は回数をお書き下さい。

ない ・ 1回 ・ 2回 ・ 3回 ・ 4回以上

III 今回の助成の詳細は、何で知りましたか。

当財団のWebページ/Facebook ・ 助成金情報サイト ・ メーリングリスト
チラシ ・ 友人/知人から ・ その他 ()

IV 募集要項について、気になった点、わかりにくかった点があればお書き下さい。

V 本助成で、改善した方が良くと思われる事柄があればお書き下さい。

VI 本助成で、今後新たに取り組むと良くと思われる事柄があれば、お書き下さい。

支出計画書(1)

プロジェクト名: _____

助成申請額

1000000円

自動的に算出されますので記入しないでください。
申請書の申請金額と相違がないようご確認ください。

団体: _____

代表者: _____

会計責任者: _____

支出計画

(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

費 目	内 訳	単 価	数 量	小 計
a.器具・備品費	センサーカメラ	¥50,000	4	¥200,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥200,000
b.消耗品費	文具	¥1,000	7	¥7,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥7,000
c.委託費	地域NPOへの調査委託費	¥100,000	1	¥100,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥100,000
d.賃金・謝金	調査協力者アルバイト料	¥8,000	7	¥56,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥56,000
e.旅費	東京 ⇄ ○○島 (往復航空券)	¥50,000	4	¥200,000
	宿泊費	¥10,000	20	¥200,000
	レンタカー+ガソリン代	¥20,000	5	¥100,000
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥500,000
f.交通・通信・運搬費	資料の送付代	¥1,000	5	¥5,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥5,000

- ・「費目一覧」をよくご確認ください。
- ・行が不足する場合は行を追加してください。
- ・なお、複数行追加によりページに収まらない場合は、他の費目の行を一部削除してください。

支出計画書(2)

費 目	内 容	単 価	数 量	金 額(円)
g.図書・資料費	書籍	¥2,000	5	¥10,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥10,000
h.印刷費	資料のコピー代	¥10	1000	¥10,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥10,000
i.会議費	会議室借用費	¥10,000	3	¥30,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥30,000
j.借用費	分析用機器	¥10,000	5	¥50,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥50,000
k.雑経費	振込手数料	¥400	5	¥2,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥2,000
l.助成成果発表会出席 経費	大阪⇄東京(往復)	¥30,000	1	¥30,000
				¥0
				¥0
(合計)				¥30,000
助成申請額合計				¥1,000,000

助成成果発表会には必ずご出席ください。そのための旅費は必ずこちらに計上してください。なお、発表者1名分のみ計上してください。